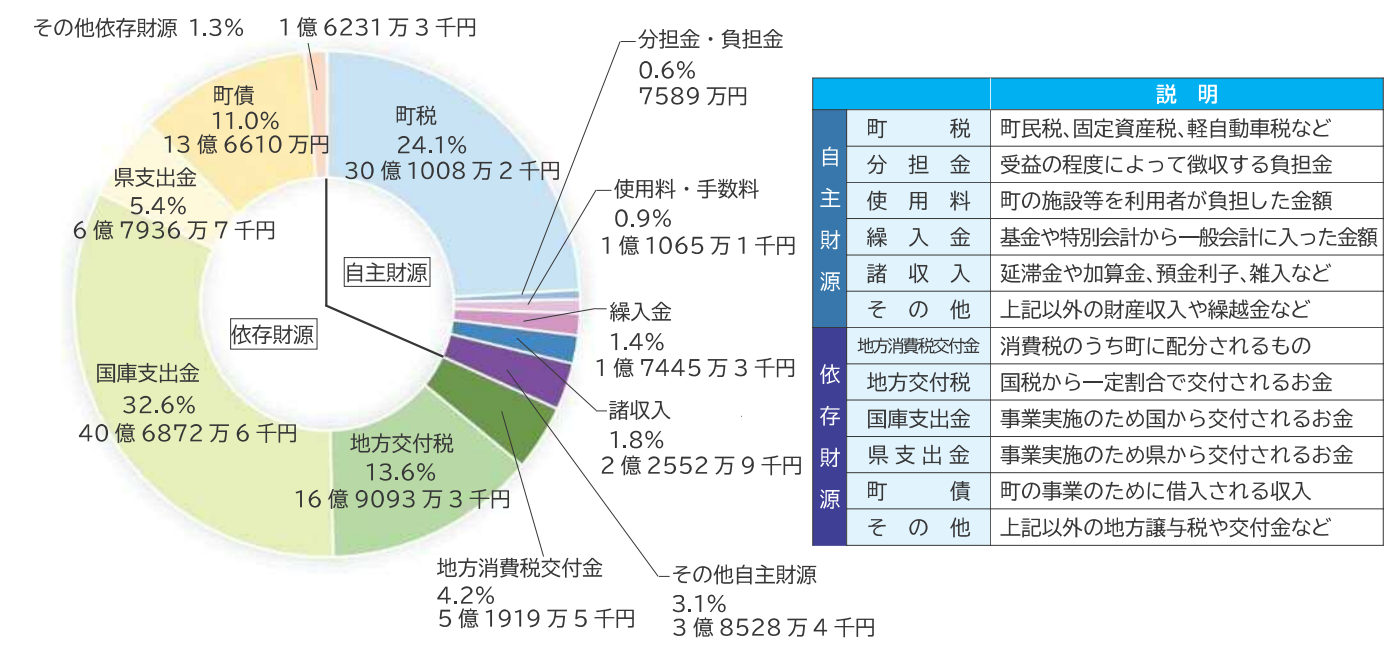


令和2年度 大河原町 決算を報告します

昨年度に町にどんなお金が入ってきて、
どんな使われかたをしたのかご覧ください

令和2年度の一般会計決算額は、歳入（町に入ったお金）が124億6,852万3千円、歳出（町が使ったお金）が121億3,829万6千円で、差し引き収支が3億3,022万7千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の8,248万4千円を除くと実質収支額は2億4,774万3千円の黒字となりました。

一般会計歳入 124億6,852万3千円



		説明
自主財源	町税	町民税、固定資産税、軽自動車税など
	分担金	受益の程度によって徴収する負担金
	使用料	町の施設等を利用者が負担した金額
	繰入金	基金や特別会計から一般会計に入った金額
	諸収入	延滞金や加算金、預金利子、雑入など
依存財源	地方消費税交付金	消費税のうち町に配分されるもの
	地方交付税	国税から一定割合で交付されるお金
	国庫支出金	事業実施のため国から交付されるお金
	県支出金	事業実施のため県から交付されるお金
	町債	町の事業のために借入される収入
その他	上記以外の地方譲与税や交付金など	

特別会計・企業会計決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計・企業会計の決算概要は次のとおりです。

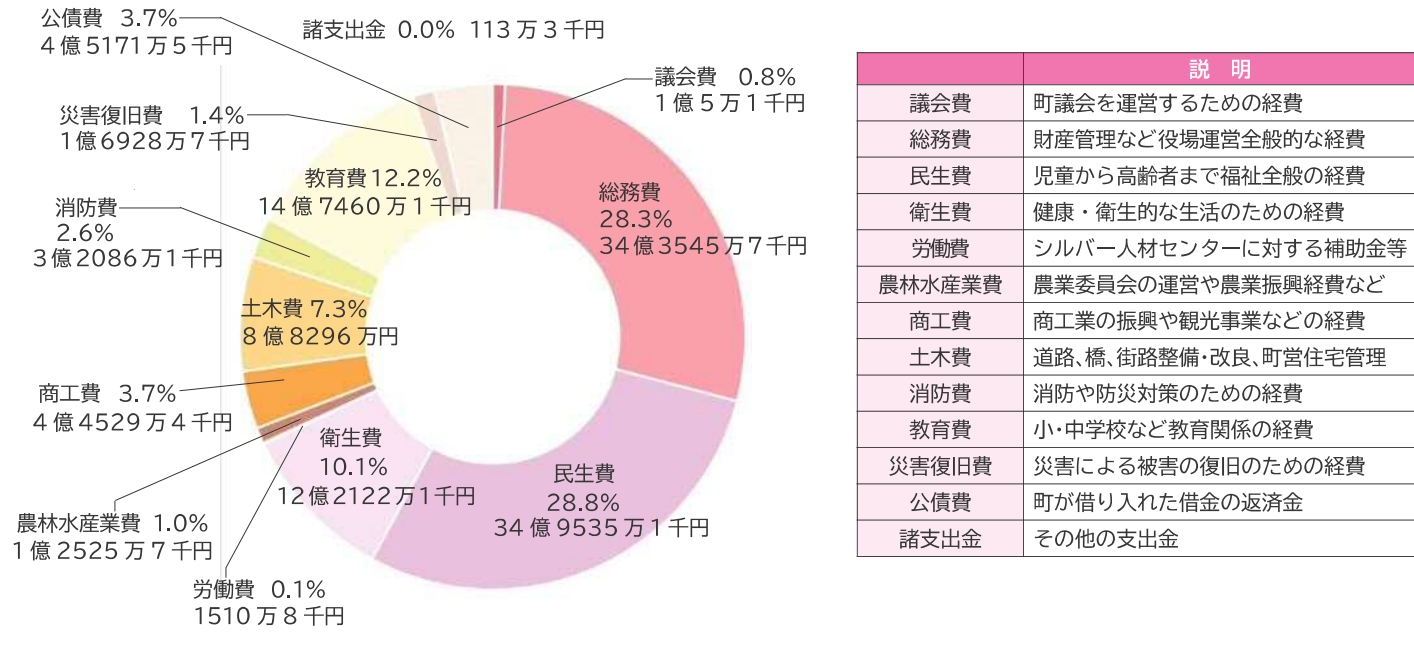
会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
後期高齢者医療特別会計	2億8,504万3千円	2億7,822万6千円	681万7千円	
国民健康保険特別会計	19億9,582万3千円	19億6,174万8千円	3,407万5千円	
介護保険特別会計	13億9,404万7千円	13億6,198万円	3,206万7千円	
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	4,008万2千円	3,551万9千円	456万3千円	
地方卸売市場事業特別会計	345万4千円	274万7千円	70万7千円	
水道事業企業会計	収益的収支	6億8,449万6千円	6億855万9千円	7,593万7千円
	資本的収支	3,000万円	2億3,417万3千円	△2億417万3千円
公共下水道事業企業会計	収益的収支	7億4,515万6千円	5億6,445万7千円	1億8,069万9千円
	資本的収支	9億7,457万1千円	12億2,343万円	△2億4,885万9千円

特別会計…法律で義務付けられている事業や一般会計と区分して経理を行う必要がある事業について設置する会計
企業会計…事業収益を持ち、複式簿記で経営する会計

決算についての問い合わせ先 ☎企画財政課財政係(2階②番窓口) ☎0224-53-2112

歳入の主なものは、総務費では、特別定額給付金事業、町長選挙・町議会議員補欠選挙等の選挙費、国勢調査事業、民生費では、町立桜保育所整備事業、衛生費では、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業、出産育児支援特別給付金、みやぎ県南中核病院減収対策追加負担金、商工費では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止協力金、事業者支援給付金、土木費では、白石川右岸河川敷整備事業、教育費では、児童生徒への学習用タブレット等機器購入費、旧学校給食センター解体事業、小中学校トイレ改修事業などになっています。

一般会計歳出 121億3,829万6千円



	説明
議会費	町議会を運営するための経費
総務費	財産管理など役場運営全般的な経費
民生費	児童から高齢者まで福祉全般の経費
衛生費	健康・衛生的な生活のための経費
労働費	シルバー人材センターに対する補助金等
農林水産業費	農業委員会の運営や農業振興経費など
商工費	商工業の振興や観光事業などの経費
土木費	道路、橋、街路整備・改良、町営住宅管理
消防費	消防や防災対策のための経費
教育費	小・中学校など教育関係の経費
災害復旧費	災害による被害の復旧のための経費
公債費	町が借り入れた借金の返済金
諸支出金	その他の支出金

財政健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和2年度決算にかかる健全化判断比率等を公表します。

町の令和2年度決算では、早期健全化基準及び財政再生基準を下回り、財政状況は健全と言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に取り組んでいきます。

■健全化判断比率

指標名	決算比率	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	—	14.84%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.84%	30.00%
実質公債費比率	△0.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	57.5%	350.0%	

■資金不足比率

会計名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)
地方卸売市場事業特別会計	—	20.00%
水道事業企業会計	—	20.00%
公共下水道事業企業会計	—	20.00%

	説明
実質赤字比率	市町村の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の状況を示すものです。
連結実質赤字比率	町の全会計の赤字・黒字を合算し、町全体の財政運営の状況を示すものです。
実質公債費比率	町の借入金返済等に充てた大きさを指標化し、財政負担を見るための比率です。
将来負担比率	将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、財政を圧迫する可能性を示すものです。
資金不足比率	公営企業会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足割合を示すものです。

▶実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字額がない、資金不足がないため、「—（該当なし）」を記載しています。